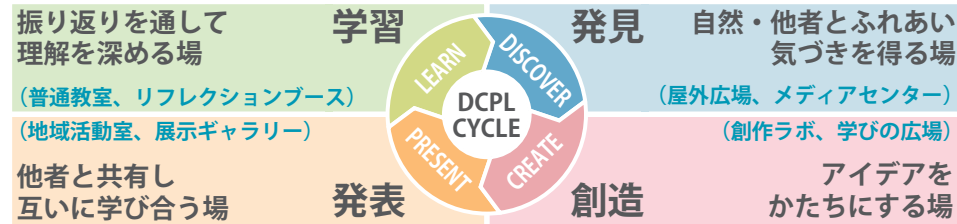


評価テーマ等に対する技術提案（公表用）

評価テーマ1「主体的で深い学びを実現することができる施設」、評価テーマ2「地域と連携・協働できる施設」、評価テーマ3「湯来地域の豊かな自然になじむ木質感あふれる施設」及びその他、設計上の配慮事項等（評価テーマに対する内容を除く。）に対する技術提案（1／2）

探究の循環（発見→創造→発表→学習）が、深い理解と考える力を育てる場をつくります

「主体的で深い学び」とは、児童生徒が自ら課題を見つけ、創造し、発表し、振り返るという循環から生まれるものと考えます。発見から創造、発表、学習までのプロセスをオープンスペースを中心に有機的につなぎ、創造性あふれる学習空間を実現します。



1 豊かな教育環境を生み出す校舎・駐車場配置

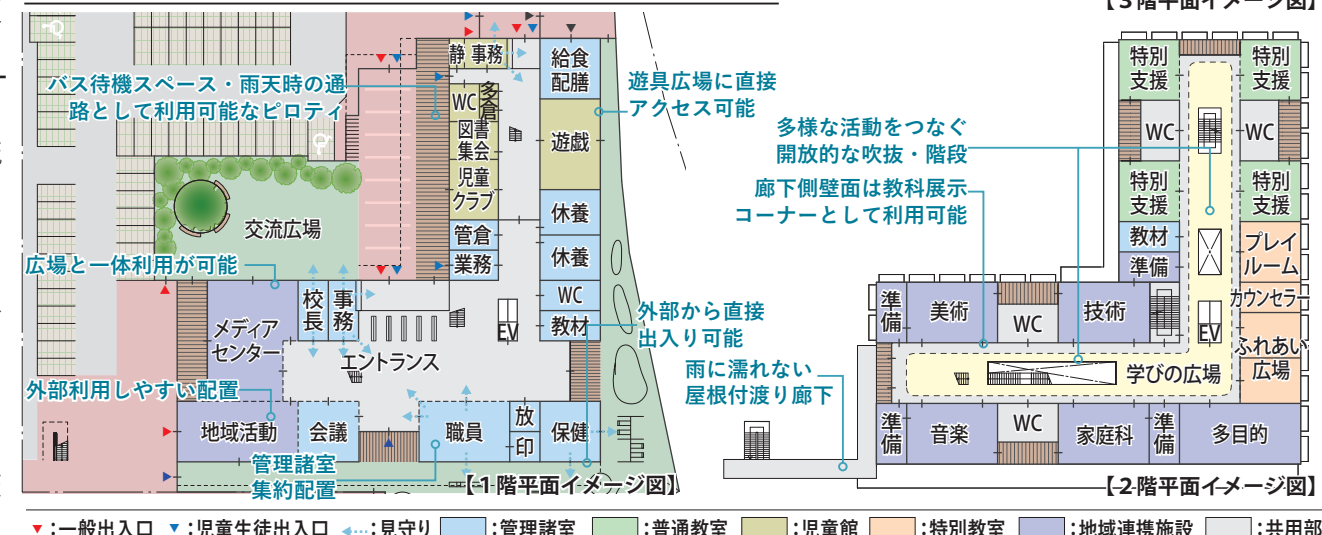
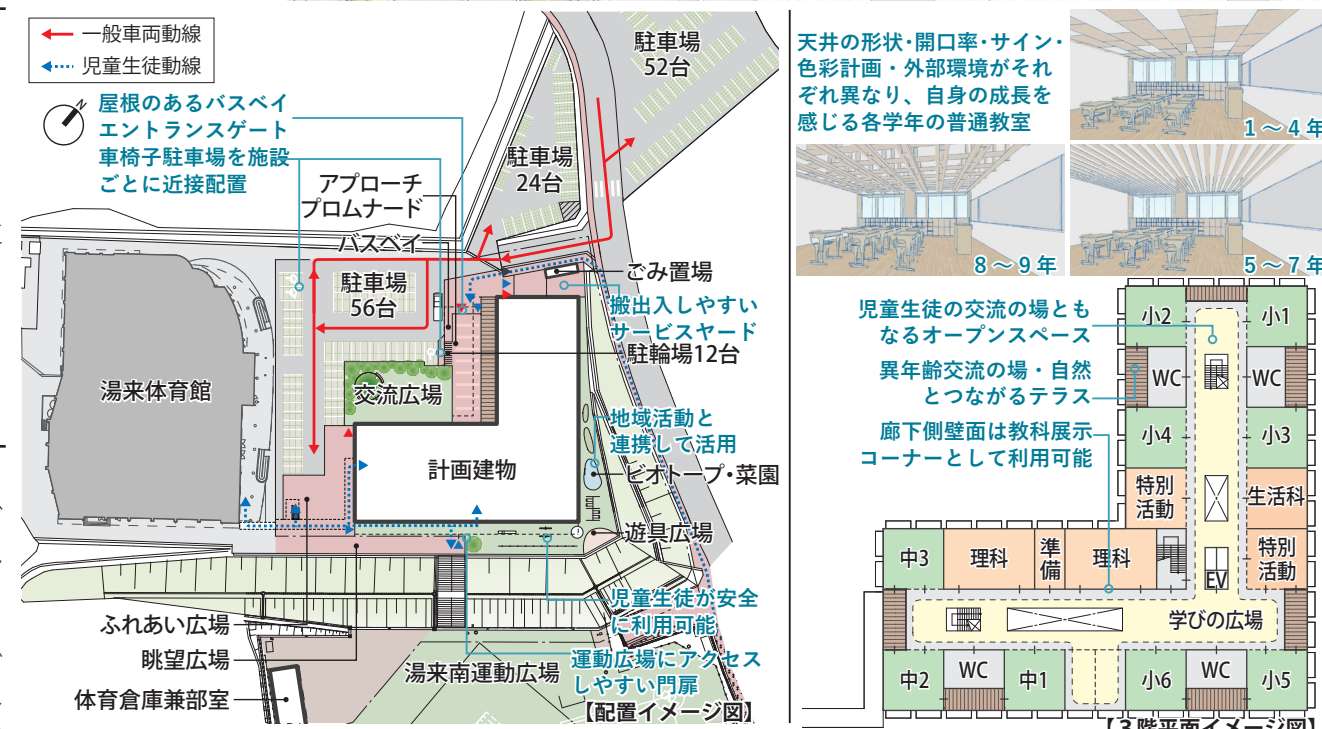
- 敷地東部にL型校舎を集約配置し、校舎の玄関前には最も大きな広場と一体になったアプローチを設けます。
- 湯来体育館と運動広場、学校利用者が最も使いやすいL型配置の駐車場を集約配置します。
- 教職員や地域住民が見守る「広場」を配置します。使用時間帯や年齢・体格の異なる児童生徒がそれぞれのびのびと運動できる環境とします。

2 地域との連携から学びの循環が生まれる階構成

- 地域連携・協働が想定されるパブリックなフロアから階を上がるにつれて特別教室フロア、クラスルームフロアとなる段階的な階構成とします。
- 建物中央の吹抜けで各階をつなげることで児童生徒は学校内での移動を通じ、自然に様々な他者と相互に交流を育むことができます。

3 全学年の交流を生み出す、3階クラスルームフロア

- 普通教室を3階に集約、異年齢交流を促進します。また、ひとつながりのフロアは4-5・4-3-2等のようなカリキュラムにも柔軟に対応します。
- 特別活動室・生活科を配置し、少人数教室等に転用可能な計画とします。
- 普通教室は児童生徒が成長を感じられるよう、各学年で異なる環境とします。オープンスペース(OS)は明るく開放的で全ての児童生徒が交流できる学びの広場とします。



4 多様な学習形態に対応する普通教室

- 普通教室は建具の開放でOSとつながり、多様な学習形態に対応します。
- 児童生徒のロッカー・収納等を窓下に設置し、教室前後の壁面の自由度を高めます。
- 発表や遠隔地との協働学習に適したICT環境を整備します。

5 学びの循環をスタートする低学年ユニット

- 児童の生活・学習を見守る教員コーナーを配置します。
- 普通教室とシームレスにつながるOSや児童の居場所ともなるテラスで異年齢の交流活動や学習の多様化を促進します。

6 より主体的・対話的な学びを促進する高学年ユニット

- 展示・ホワイトボード兼用の移動間仕切を設置し、間仕切パネルレイアウトにより個別・自主的な学習に対応します。(リフレクションブース)
- 学習発表など、情報発信に対応できる映写面をOSまわりに確保します。

7 働きやすく、連携しやすい教職員スペース

- ①個人・協働作業、②小中職員間のコミュニケーション、③児童生徒とのコミュニケーション、④リフレッシュのスペースを確保します。

特定結果

非特定者



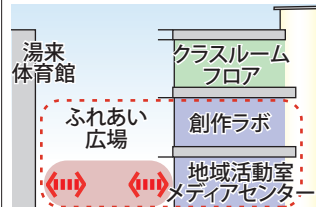
評価テーマ等に対する技術提案（公表用）

評価テーマ1「主体的で深い学びを実現することができる施設」、評価テーマ2「地域と連携・協働できる施設」、評価テーマ3「湯来地域の豊かな自然になじむ木質感あふれる施設」及びその他、設計上の配慮事項等（評価テーマに対する内容を除く。）に対する技術提案（2／2）

地域の学びの環がつながる、共創の学び舎

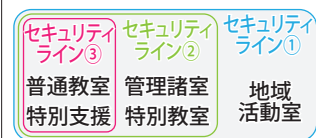


1 地域の学びが循環するゾーニング

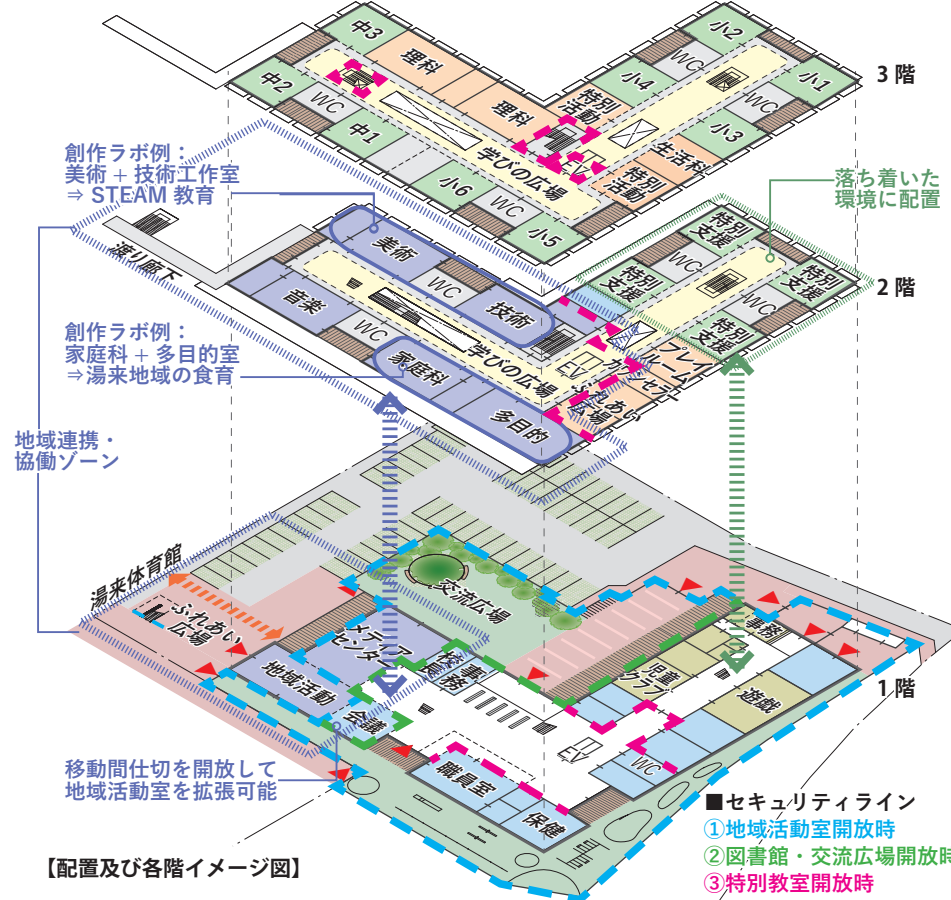


- ・地域活動室・メディアセンター・特別教室・ふれあい広場を集約配置し、管理諸室が隣接した連携しやすい地域連携・協働ゾーンとします。
- ・各特別教室は創作ラボとして複合的に利用可能とし、STEAM教育や食育など、地域と連携した領域横断的な活動や学びに対応します。

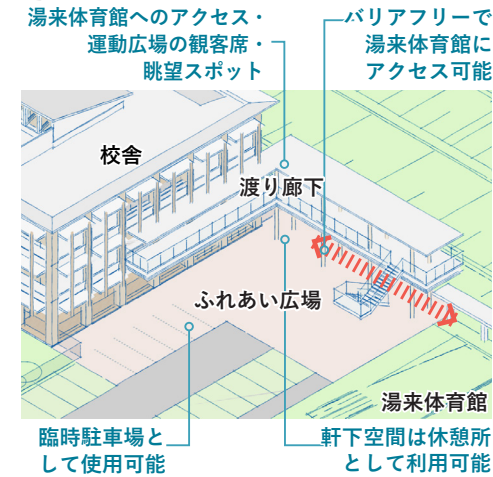
2 地域連携・協働と安全を両立するセキュリティ計画



- ・フェンス・門扉及び校舎の施錠で段階的なセキュリティラインを設定し、安全性と連携を両立します。
- ・各出入口付近には、児童生徒の見守り・不審者の監視が可能な管理諸室を配置します。



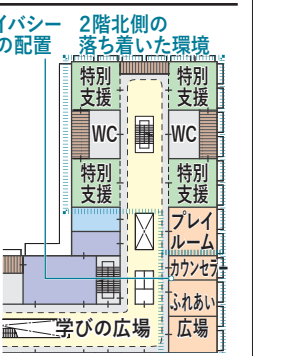
3 体育館と学校、地域をつなぐ、ふれあい広場・渡り廊下



- ・湯来体育館・運動広場でイベント・地域活動を支援する、地域活動室とも連携可能な広場とします。
- ・イベント時のキッチンカーの駐車や臨時の駐車場所として使用可能な車両対応の舗装とします。
- ・渡り廊下は1階においても歩車分離可能でバリアフリーの配置とします。
- ・ふれあい広場の屋根として、体育館・運動広場利用者のクールダウン・休憩での利用、2階レベルでは運動広場の観客席や眺望を望む場所となります。

4 インクルーシブな学習・協働環境

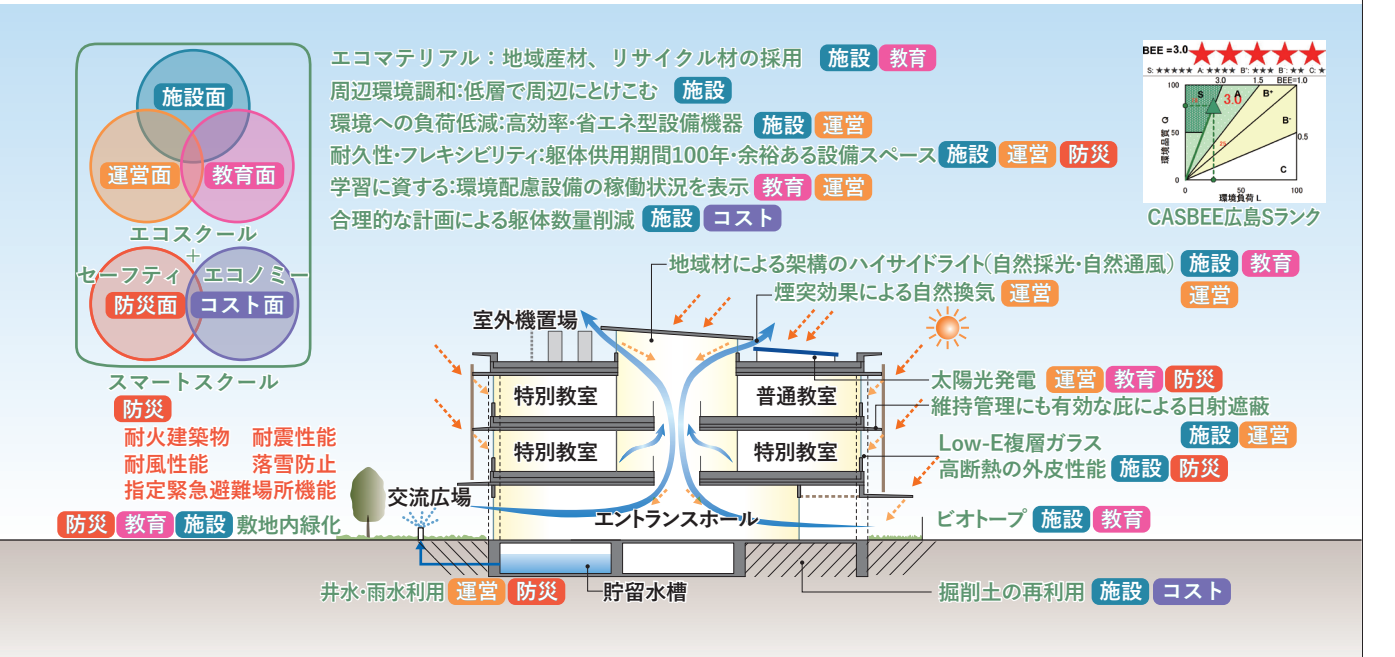
- ・特別支援教室は落ち着いた環境の2階北側に集約配置し、防音・遮音対策とクールダウンスペースを備えます。
- ・さらに教室を吹抜けや学びの広場、交流テラスをつなげ、学校全体の開放感を共有します。
- ・プライバシーを重視するカウンセラー室とふれあい広場は、外部スタッフが利用しやすく、2階の通過動線が少ない位置に配置します。



「つつむ ～ とけこむ ～ つながる」 みんなが集う木立の中の学び舎



文科省エコスクールを進化させた、次世代のスマートスクールを提案します



特定結果

非特定者